

計画概要

建設予定地	和寒町字三笠 95-8、9 他
敷地面積	18,799.81 m ² (町有地)
建築面積	3,909.25 m ²
延床面積	3,842.69 m ² (1 階 :3,613.52 m ² 、2 階 :229.17 m ²)
構造規模	木造 2 階建て
用途	○広域型特別養護老人ホーム< 1 ユニット 15 名個室、3 ユニット 45 名定員> ○共生型短期入所 (空床利用型、1 ユニット 2 室程度利用) 短期入所生活介護、短期入所 ○共生型通所介護 (18 名定員) 地域密着型通所介護、総合事業 (通所型サービス)、生活介護 ○在宅支援サービス 訪問介護 (ホームヘルプ)、総合事業 (訪問型サービス)、居宅介護・重度訪問介護・行動援護、訪問看護、 居宅介護支援 (ケアプラン作成) ○児童育成支援拠点 ○創作 障がい者就労継続支援 B 型 (10 名定員) ○食の拠点 (みんなの食堂、配食サービス等) ○仕事センター (ちょっとしたお仕事のマッチング、お仕事トレーニング等)

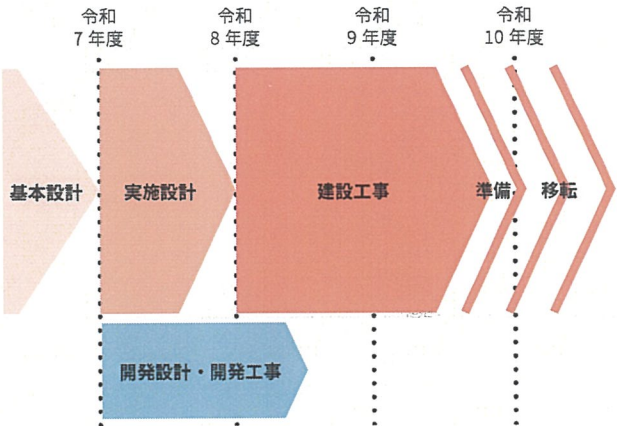
概算事業費 (令和 6-9 年度分)

2025 年 2 月時点

項目	金額 (消費税 10% を含む)	備考
【1】 建設工事費 (建築主体・電気設備・機械設備・外構)	26 億 9,280 万円	建物の工事に関する費用
【2】 設計・監理・調査業務費	2 億 1,923 万円	建物の設計・監理・調査業務に関する費用
【3】 開発設計費・開発工事費	2 億 1,305 万円	土地の造成などに関する費用
【4】 備品購入費	1 億 2,980 万円	施設内の机などの備品に関する費用
【5】 各種申請費	138 万円	建築確認申請などに関する費用
【6】 用地購入費	1,506 万円	用地購入費や測量などに関する費用
計	32 億 7,132 万円	※令和 8-9 年度事業費は 30 億 8,000 万円

今後のスケジュール

今回の基本設計でまとめた計画の方針を踏まえて、令和 7 年度には各室の仕様などより細やかな検討を行ってまいります。



お問い合わせ先

○和寒町保健福祉課 地域福祉推進室
tel 0165-32-2000
○社会福祉法人ゆうゆう
tel 0133-22-2896

「和寒町ふくしのまちづくりプロジェクト」の詳細についてはこちらからご覧ください。



和寒町ふくしのまちづくり

「中核となる福祉施設」 - 基本設計概要 -

令和 7 年 (2025 年) 3 月



昭和 51 年開設の和寒町特別養護老人ホーム芳生苑は、施設の老朽化が進み、高齢者の町外転出による入所者の減少や経営赤字の増大が課題となっていました。そのような中、高齢者はもとより障がいのある方や子どもたちなど、誰もが安心して住み続けられるまちづくりをめざす「ふくしのまちづくりプロジェクト」が始まりました。

令和 6 年 3 月、町民の意見や様々なアイデアを取り入れ、『共愉 (きょうゆ) するまちを創造する』を基本理念とした「和寒町ふくしのまちづくり基本構想」と「中核となる福祉施設の基本計画」が策定されました。

新たな福祉施設は、民設民営として町と「基本協定」を取り交わした社会福祉法人ゆうゆうが整備運営主体となり、施設職員や町民の皆さまとともに基本構想の 5 つのビジョンを実現するため、ふくしのまちづくりの拠点となる姿を形作っていきます。

5 つのビジョン

- ①最期まで暮らし続けることのできる特別養護老人ホームの体制構築
- ②あらゆる住民が安心して在宅生活を送ることができる在宅支援サービスの体制構築
- ③子どもたちが大切にされる機能の構築
- ④あらゆる住民が活躍できることを実現する「しごとづくり」機能の構築
- ⑤和寒町の特徴である農業・食文化を推進する機能の構築



全体構成について

共生型通所介護

ファーム広場に面し、創作と隣接することで農作業からのづくりまで様々なケアの活動ができます。

仕事センター

施設2階に位置し、勉強や中規模セミナーや町内外の住民の方がカウンターでリモートワークを行うことができるスペースです。

中央広場

季節を問わず約60人ほどが集まることのできる屋内広場。冬期でもイベントなど様々な活動を行うことができます。

食の拠点

特養、共生型通所介護の食事をつくる厨房のほか、地域の人がテイクアウトもできるようなカウンターも想定しています。

点線は屋根の範囲を表しています

駐車場

北と南にそれぞれ40台分の駐車場を設けます。

歩車分離について

敷地北側は役場などのまちの中心地、南側は子育て支援センターやかたくり荘から、それぞれ徒歩と車のアクセスが考えられるため、南北に駐車場と豊かな歩行者空間である園路と広場を計画しました。

ファーム広場

子育て支援センター、かたくり荘からの動線に面する南東に位置します。農を介したコミュニティをつくれます。

創作(就労継続支援B型)

集中して作業のできる「ワークスペース」と共有部に開かれ活発に活動ができる「ワークスペース」によって居場所を自由に選べるものづくりスペースです。

特養ユニット

1ユニットあたり15室の個室と小さなリビングとダイニングが分散する計画です。

エントランス広場

北側エントランスに面した芝生の屋外広場。夏のイベントなどにも活用可能な広々としたスペースです。

鳥瞰イメージ



内観イメージ①：特養居室



内観イメージ②：特養ユニット共用部



内観イメージ③：食の拠点



内観イメージ④：中央広場



内観イメージ⑤：ワークスペース



内観イメージ⑥：創作

平面計画について

